

# 外国語科学習指導案

学習者	附属小学校6年1組	33名
指導者	蔦谷 友之(2/5)	
学習者	附属小学校6年2組	33名
指導者	片山 裕子(4/5)	
学習者	附属小学校6年2組	33名
指導者	福田 航 (3/5)	
A L T	Edward Kellerman	

単元名 LAST-1 の歩みを未来に残すために、将来の自分にビデオレターをつくろう  
 (教材— Lesson 6 : My best memory. Lesson 7 : What do you want to be? )

## 1. 単元の目標

「LAST-1 (学年目標)」であるこの1年間の歩みや個人の頑張りを未来に残すために、6年間で学習した表現を用いて、学校生活の思い出や将来の夢などを表す語句や基本的な表現を話すことができる。

## 2. 単元について (Lesson6 について)

必然性	大人になって皆で同窓会をした時に見る「小学校の思い出」を動画で撮るために、自分の一番の思い出について考える
リアル感	自分の思い出を伝えたり、友達の思い出を聞いたりするためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	1年間の行事の中で、何が楽しかったか友達とやり取りすることを通して、様々な思い出について会話をする楽しさ (共通点や相違点を知る楽しさ)
相手意識	友達や未来の自分自身に、今の自分のことを知ってもらうためにわかりやすく伝えようとする意識

## 3. 言語材料 (下線は新出表現)

- What's your best memory ?      My best memory is (the school trip).  
 We (saw Mt.Fuji).      It was (beautiful).

[既出]動詞の過去形 (went,saw,ate,enjoyed,)、動詞 (like,play,have)、形容詞

[期待する既習表現] I like (history).

I can (study histoy).

I am good at (running).

My favorite place is (meganebashi).

We can (see heart stone).

I want to go to (Nagasaki one more time).

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

(Lesson6 について)

話すこと 発表	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的表現を用いて話すことができるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	(イ)誕生日や好きなこと、できること、夏休みの思い出や将来の夢などについて、話す順番を決めたり内容を選択したりしながら、話すことができる。

5. 単元の評価規準 (Lesson6 について)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<p>&lt;知識&gt; 学校行事に関する語句や、 What's your best memory? My best memory is~. の言い方や答え方について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 思い出の学校行事について、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせる技能を身に付けている。</p>	<p>6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>	<p>6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p>

6. 「話すこと（発表）」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画 (Lesson6 5時間)

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価の観点（評価規準）〈方 法〉
1	<p>◆思い出の学校行事を伝える表現に慣れ親しみ、単元の見通しをもつ。</p> <p>○Ed time (Classroom English practice)</p> <p>○Small Talk : 楽しかった思い出について 【Let's listen】 HRT と ALT のやり取りを通して、自分たちの思い出について話していることを推測する。また、思い出の学校行事についてのおおよその内容を聞き取れるようにする。</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <p>Last1 の歩みを未来に残すために、将来の自分にビデオレターをつくろう</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

	<p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思い出に残っている学校行事を伝える言い方を 知ろう</p> </div> <p>【Activity】 HRT と児童数名で十分にやり取りをした後、友達に思い出の学校行事について尋ねるようにする。</p> <p>○どの学校行事をビデオレターに残すか考えるようにする。</p>				
2	<p>◆一番思い出に残っている学校行事について尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Ed time (P72)</p> <p>○Small Talk : 夏祭りについて</p> <p>【Let's listen】</p> <p>Small Talk にどんな既習表現が出てきたか、具体的に聞き取るようにする。児童から出てきた表現を板書に位置付けるようにする。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思い出に残っているエピソードについて友達と伝え合おう</p> </div> <p>○思い出に残っているエピソードとして伝えたい内容を考える。</p> <p>【Let's talk】</p> <p>思い出に残っている学校行事と、そのエピソードについて友達と伝え合う。中間指導で、数名に発表してもらい、表現の幅を広げるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>My best memory is school trip.</p> <p>I went to Greenland.</p> <p>I enjoyed attraction.</p> <p>It was fun.</p> <p>I like ジェットコースター.</p> </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
3	<p>◆一番思い出に残っている学校行事について詳しく話すことができる。</p> <p>○Ed time</p> <p>○Small Talk : 修学旅行について</p> <p>【Let's listen】</p> <p>Small talk にどんな既習表現が出てきたか、具体的に聞き取るようにする。児童から出てきた表現を板書に位置付けるようにする。</p>				

	<p><b>【Let's think】</b>  また、表現カードをみて話し合うことで担任の話しした内容を詳しくさせる。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思い出に残っているエピソードについて詳しく友達と伝え合おう。</p> </div> <p><b>【Let's talk1】</b>  思い出に残っているエピソードの表現の仕方についてグループで話し合う。</p> <p><b>【Let's talk2】</b>  思い出に残っているエピソードについて、たくさんの方と交流する。</p> <p><b>【Activity】</b>  本時で作成したエピソードを動画で記録する。</p>	発			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[話す・発] の記録に残す評価</p> <p>◎思い出の学校行事について、これまで学んだ表現(過去の事、現在の事)を組み合わせて発表する技能を身に付けている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童の姿</p> <p>My best memory is school lunch.</p> <p>I saw many Japanese foods.</p> <p>I ate torinita-don.</p> <p>I like chicken and nira.</p> <p>Nira is favorite vegetable in Oita City</p> <p>It's delicious.</p> <p>I want to eat torinita-don one more time.</p> </div>
4	<p>◆一番思い出に残っている学校行事について、よりよく話すことができる。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6年生の楽しかった思い出が将来の自分に伝わるような発表内容にしよう</p> </div> <p><b>【Let's listen】</b>  ○ALT の発表 A と B を聞き、自分だったらどちらにするか理由とともに考えるようにする。</p> <p><b>【Let's Think1】</b>  ○どちらの方が、より思い出に残る言い方か考えるようにする。</p> <p><b>【Let's Think2】</b>  ○自分の発表内容を、推敲する。</p> <p><b>【Let's talk】</b>  ○グループで伝え合い、より楽しさが伝わる発表内容になるようにする。中間指導で、数名に発表してもらい、表現の幅を広げるようにする。</p> <p>○本日の記録を動画で撮る。</p>		発	発	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[話す・発] の記録に残す評価</p> <p>◎6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現(過去の事、現在の事)を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。〈行動観察・動画分析〉</p> <p>◎6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現(過去の事、現在の事)を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈行動観察・動画分析〉</p> </div>
5	<p>◆一番思い出に残っている学校行事について、工夫して話して話すことができる。</p> <p>○エドタイム</p> <p>前時に撮影した動画を数名紹介する。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p>				

6年生の楽しかった思い出が将来の自分に伝わるように動画を撮ろう

○Small Talk：ビデオレター風に撮影した担任の思い出紹介

【Let's listen1】

ビデオレターの意味を再確認させ、どんな動画を残せばよいか考えられるようにする。

[想定される児童の姿]

- ・はじめに、未来の自分に挨拶をする。
- ・「～ですか。」と未来の自分に尋ねるとよい。
- ・ジェスチャーを取り入れたり、写真を用いたりして、自分のなりの個性を出すとうい。

【Let's talk】

発表の練習をする。必要であれば、友達と練習したり、アドバイスをもらったりするようにする。

○本日の記録を動画で撮る。

[想定される児童の姿]

Hello. How are you? I'm fine.

Now, I'm twelve years old.

My best memory is school trip. I went to Greenland in Kumamoto.

I enjoyed attraction. I like ジェットコースター. Speed is very fast.

It was fun. I want to go to Greenland one more time.

See you.

発

発

発

[話す・発] の記録に残す評価

◎思い出の学校行事について、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせる発表する技能を身に付けている。

◎6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。〈行動観察・動画分析〉

◎6年生の現段階で感じている気持ちや想いを未来の自分へのビデオレターに残すために、これまで学んだ表現（過去の事、現在の事）を組み合わせたり整理したりしながら、思い出に残っている学校行事について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。

〈行動観察・動画分析〉

7. 本時の指導（授業者 蔦谷 友之）

単元名 LAST-1 の歩みを未来に残すために、将来の自分にビデオレターをつくろう 2 / 5 時間

本時のねらい 自分が未来の自分に伝えたい学校行事について、Small talk で既習表現を思い出したり、友達と交流する中でビデオレターに取り入れたい表現を考えたりすることを通して、伝えたい内容を話すことができるようにする。

(評価規準) ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 自分の話したい内容を既習表現を活用して表現している。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
3分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>○前時の振り返りをもとに、本時の活動の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思い出に残っている学校行事の尋ね方や伝え方を想起できるようにする。</li> </ul>
7分	<p><b>Activities</b></p> <p><b>【Let's listen】</b></p> <p>○Small Talk：夏祭りについて担任の話聞く。</p> <p>[HRT]</p> <p>My best memory is summer festival. I enjoyed many shop. I played wanage. This is an omikoshi. It is funny. I like it.</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>I enjoyed ~. I play ~. This is ~. It is ~. I like ~. 夏祭りのお店とおみこしのことを話していた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small talk にどんな既習表現が出てきたか、具体的に聞き取るようにする。児童から出てきた表現を板書に位置付けるようにする。</li> </ul>
10分	<p>○本時のめあてと活動を確認する。</p> <p><b>思い出に残っているエピソードについて友達と伝え合おう</b></p> <p>○思い出に残っているエピソードとし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>板書に位置付けた表現カードの色の違い（黄＝過去形、緑＝現在形、白＝その他）に気付くことができるようにする。</li> <li>Small talk で出てきた表現以外の過去形、現在形の既習表現についても想起させ、自分の表現に活用できるようにする。</li> <li>思い出に残っているエピソードについて、ロイロノート</li> </ul>


	て伝えたい内容を考える。	に表現カードを並べることで、どんな英語表現を用いたらよいか個人で考えられるようにする。 ・言い方が分からない内容については、白カードに日本語で記入できるようにする。
20分	<p><b>【Let's talk】</b></p> <p>○思い出に残っている学校行事とエピソードについて、たくさんの友達と交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>My best memory is school trip.</p> <p>I went to Greenland.</p> <p>I enjoyed attraction.</p> <p>It was fun.</p> <p>I like ジェットコースター.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなペアの友達と、何度も繰り返し伝え合うことで、表現に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>・活動に入る前に、ペアの友達の表現の仕方やアドバイスを参考に、自分の困りを解決したり、伝え方を改善したりしていくことを確認する。</li> <li>・中間指導で、困りを全体で共有し、どのように表現すればよいか、みんなで考えられるようにする。また、ペアの友達と交流する中で、改善できたこと等も出し合わせることで、表現の幅を広げられるようにする。</li> </ul>
5分	<p><b>Comments</b></p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p><b>Greetings</b></p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名発表してもらい、工夫したところを全員で確認できるようにする。</li> </ul>

7. 本時の指導 (授業者 福田 航)

単元名	LAST-1 の歩みを未来に残すために、将来の自分にビデオレターをつくろう	3 / 5 時間
本時のねらい	自分が未来の自分に伝えたい学校行事について、Small Talk で既習表現を思い出したり、一番伝えたいことをより詳しくする表現カードを使ってグループで考えたりすることを通して、ビデオレターの内容をより詳しくすることができるようにする。	
(評価規準)	※本時案に位置づける	
具体的な児童の姿	自分が一番思い出に残ったエピソードについて詳しく話している。	

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価 (方法) ※支援を要する児童への手立て
3 分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○前時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に作成したものをペアで交流する。</li> </ul>
7 分	<p><b>Activities</b></p> <p><b>【Let's listen】</b></p> <p>○Small Talk : 修学旅行の思い出について担任の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small talk にどんな既習表現のカードが出てきたか、具体的に聞き取るようにする。児童から出てきた表現を板書に位置付けるようにする。また、話を聞いてどのように感じたか問い、詳しくするためには他にどんな表現が使えるか話し合うようにする。</li> </ul>
	<p>My best memory is school trip.</p> <p>I went to Nagasaki.</p> <p>I enjoyed hotel's lunch.</p> <p>I ate sara-udon.</p> <p>I like sara-udon .</p> <p>Sara-udon is very yummy in Nagasaki.</p>	<p>[想定される児童の姿]</p> <p>I like~.</p> <p>I want to~.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皿うどんのことをメインに話していた。</li> <li>皿うどんが好きなのが分かった。</li> <li>他に修学旅行で食べたものを聞きたい。</li> </ul>
	<p><b>Let's think</b></p> <p>担任のエピソードに入れることができなかった表現カードを見て、エピソードに入れるためにはどう表現したらよいか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ使われていない (話したいけど外国語表現にできない) 表現カードをペアで話し合って表現の仕方を出し合わせたり、黄 (=過去形)、緑 (=現在形) のカードを新たに追加したりすることで、担任のエピソードを詳しくさせるようにする。</li> </ul>
10 分	<p>○本時のめあてと活動を確認する。</p> <p><b>思い出に残っているエピソードについて詳しく友達と伝え合おう</b></p> <p><b>【Let's talk1】</b></p> <p>○思い出に残っているエピソードの表現の仕方について、グループで話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考えた表現を紹介する際、思い出の尋ね方も想起できるようにする。</li> <li>友達の表現カードを見ながら、外国語表現の仕方についてアドバイスをし合うようにする。</li> <li>中間指導で、困りを全体で共有し、どのように表現すればよいか、みんなで考えられるようにする。また、グループの話合いの中で上手に解決できた例も紹介し、参考にできるようにする。</li> </ul>
	<p>My best memory is school lunch.</p> <p>I ate torinita-don.</p> <p>It was delicious.</p>	



15分	<p><b>【Let's talk2】</b></p> <p>○思い出に残っているエピソードについて、たくさんの友達と交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室を自由に歩き回り、次々に新しいペアを作って交流できるようにする。何度も繰り返し伝え合うことで、表現に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>・中間指導では、友達と交流する中で、どんな工夫を発見したか、また、どんなところを改善したかについて尋ねる。数名に発表してもらい、表現の幅を広げたり、改善方法の参考にしたりできるようにする。</li> </ul>
5分	<p><b>Activities</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を撮影する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>My best memory is school lunch. I ate torinita-don. It was delicious.</p> </div> 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>My best memory is school lunch. I saw many Japanese foods. I ate torinita-don. I like chicken and nira. Nira is favorite vegetable in Oita City It's delicious. I want to eat torinita-don one more time.</p> </div>
5分	<p><b>Comments</b></p> <p>○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。</p> <p><b>Greetings</b></p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2名発表してもらい、工夫したところを全員で共有する。</li> <li>・付け加えたことを中心に、振り返りシートを書くようにする。</li> </ul>

7. 本時の指導（授業者 片山 裕子）

単元名 LAST-1 の歩みを未来に残すために、将来の自分にビデオレターをつくろう 4 / 5 時間

本時のねらい 自分が未来の自分に伝えたい思い出について、ALT の 2 つの動画を比較して気付いたことをみんなで出し合ったり、自分の考えた原稿について工夫できることを友達と話し合ったりすることを通して、よりよい発表内容に修正することができるようにする。

（評価規準） ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 順番を入れ替えたり、必要のない部分を削除したりしている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価（方法）※支援を要する児童への手立て
4 分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○前時の復習をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までに完成したものを、ペアで伝え合う。</li> </ul>
6 分	<p><b>Activities</b></p> <p>○本時のめあてと活動を確認する。</p> <p>楽しかった思い出が将来の自分に伝わるような発表内容にしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までに完成した表現カードを確認し、「8 年後に、今の気持ちが十分伝わるものになっているか確認し、本時のめあてを位置付けるようにする。</li> </ul>
10 分	<p><b>【Let's Listen】</b></p> <p>ALT の思い出の話を動画で聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : My best memory is school lunch.</p> <p>I like Japanese foods.</p> <p>I like chicken.</p> <p>I ate Triten.</p> <p>It was delicious.</p> </div> <p><b>【Let's Think 1】</b></p> <p>・ どちらの方が、より思い出に残る言い方か考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらの発表内容にしようか悩んでいる ALT の動画を見て、自分だったらどちらにするか理由とともに考えるようにする。</li> <li>・ 2 つの文を比べるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>B : I like Japanese foods.</p> <p>I like chicken.</p> <p>So, my best memory is school lunch.</p> <p>I ate Triten.</p> <p>It was delicious.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 板書に位置付けるようにする。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>《A にする》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番先に一番の思い出について言っているからわかりやすい。</li> <li>・ 現在の事、過去のことを順番に言っているから聞き取りやすい。</li> </ul> <p>《B にする》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先に自分が好きな食べ物を伝えて、「だから一番の思い出は○○だ」と続けて言っている。強調されていてよい。</li> <li>・ 思い出のことも大切にしているけど、日本の食べ物がおいしいということを伝えたいのだと思う。</li> </ul> </div>	

5分	<b>【Let's Think 2】</b> ・自分の発表内容を、推敲する。  ・マイゴールを立てる。	・前回撮影した自分の動画を視聴した後、工夫できそうな点を考えるようにする。必要であれば、友達動画も参考にしていよいことを伝える。 ・途中で、単元ゴールに立ち返り、何のために発表の内容を見直しているのか再確認をする。
10分	<b>【Let's talk】</b> ○グループで伝え合う。	・中間指導で、困りが無いかな尋ねる。困りが出なかった場合、どんなところを改善したか尋ね、単元ゴールに意識が向くようにする。 ・途中で数名に発表してもらい、表現の幅を広げ、改善方法の参考になるようにする。
5分	○Activities ・動画を撮影する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>My best memory is school trip.            I went to Greenland.            I enjoyed ニオー.            I like ジェットコースター.            It was fun.</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>I went to Greenland .            I enjoyed ニオー.            I like ジェットコースター.            It was fun.            So, my best memory is school trip.            I want to go to Greenland one more time.</p> </div>
5分	<b>Comments</b> ○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。 <b>Greetings</b> ○おわりのあいさつをする。	・1・2名発表してもらい、工夫したところを全員で確認する。 ・マイゴールが達成できたか、どんな工夫をしたか、振り返りで書くようにする。